

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0810
施設名	中神保育園
施設所在地	東京都昭島市朝日町5-4-17
法人名	社会福祉法人多摩育児会中神保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自分たちでお米を育てて食べてみよう

<テーマの設定理由>

去年度の年長児が行っていた作業に興味があり、子どもたち自ら「お米作りたい」という意見が多く挙がったため、設定をした。

2. 活動スケジュール

- ・ 稲の種もみを行う。
- ・ たらいに稲の土壌を作り、種を植える。
- ・ 収穫
- ・ 脱穀
- ・ 実食

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・ 種もみのための種
- ・ タライ
- ・ 土
- ・ 水

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・子どもたちの意見をもとに、稲作の絵本から導入を始める。稲とは何か、稲から何ができるか、稲はどうやったらできるか等子どもたちと話す。
- ・種もみを行い、水を変えながら苗へと成長させる。
- ・土と水を混ぜ、稲の土壌を作成し、稲を植え替える。
- ・収穫、脱穀を行い、最終的にご飯（おにぎり）に混ぜて食べる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

・初めは積極的ではなかった子ども友だちが作業している様子を見て「やっぱり私もやりたい」などと言い、楽しそうに作業をする姿が見られていた。種もみだんだんと芽が生えてくると「伸びてきた～」と嬉しそうに観察する姿も見られた。田植えではドロドロになりながらも「早く大きくなあれ」と言いながら楽しそうに植えていた。収穫や脱穀も自分たちで行い、おにぎりとして食べたときは「自分たちで作ると美味しいね」と言いながらおいしそうに食べる姿も見られていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

普段食べているお米を自分たちで1から作ることで稲作の大変さだけでなく、食育とも繋がっていくことができた。また、見たことのない苗などにも実際に触れることができ、良い機会だった。初めは抵抗があった子ども友だちと関り行うことで最終的に積極的に取り組むことができた。